

2022-2024 中期経営計画

Accelerate innovation

JFE-SIが加速する



JFE システムズ 株式会社





- 1 前中期経営計画の総括(2018-2020)
- 2 中期経営計画の概要(2022-2024)
- 3 トピックス

前中期経営計画(2018-2020)の総括

財務目標・主要施策共に完遂!

【連結財務目標 2020年度】

経常利益 32億円以上

ROS 7%以上



実績

経常利益 **47億円**

ROS **10.1%**

2021年度

経常利益 56.4億円/ROS 11.2%

※ROE=16%超で推移(2018-20)

【主要施策】

1 製鉄所システム
リフレッシュの推進

- ・製鉄所システムリフレッシュが本格化し、JFEスチールと共に円滑な推進を実現
- ・JFEスチールの本社系基幹システムをオープン系に完全移行 [\(後述\)](#)

2 ソリューション事業の
拡大

- ・順調に拡大(ERPテンプレート・周辺ソリューションで構成される統合ブランドを立ち上げ)
- ・DX推進部を立ち上げ、DXの取り組みを本格化

3 基盤サービス事業の
拡大

- ・JFEグループ向けのIT基盤共通化施策推進
- ・リモートワーク環境の整備を推進し、コロナ禍での円滑な業務遂行に寄与

4 ビジネスシステム事業
顧客基盤強化

- ・自動車ビジネスの開発体制強化
- ・金融ビジネスは大型案件終了 ⇒ SoE領域への取り組み本格化

5 プロダクト事業強化
(食品・電子帳票)

- ・順調に売上・収益を拡大し、当該領域のトッププレーヤーの位置を確保

前中期経営計画 財務状況推移

2020年度は一時的にコロナ感染拡大の影響を受けたものの、
前中期経営計画期間中は総じて売上高、経常利益とも順調に拡大。

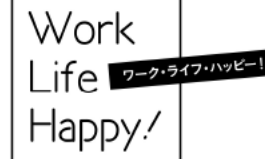
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
連結売上高	426億円	480億円	465億円	504億円
連結経常利益	34.5億円	48.0億円	47.0億円	56.4億円
ROS	8.1%	10.0%	10.1%	11.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	23.2億円	31.8億円	30.9億円	37.2億円
ROE	16.3%	19.2%	16.1%	17.1%
配当(*)	42.5円/株	60円/株	60円/株	75円/株
配当性向	28.7%	29.6%	30.5%	31.6%

*1株当たり配当は、全て現在の株数に換算して表記 (2021/4株式分割 1:2)

前中期経営計画 社外からの認定実績

財務的な目標達成だけでなく、人材を重視する当社は、
前中期経営計画期間中に様々な認定・表彰を受賞しました。

ワークもライフも楽しもう！



プラチナくるみん認定
(2020年7月子育てサポート企業)



えるぼし認定
(2018年11月女性活躍企業)



健康経営優良法人認定
(2022年3月、2018年から5年連続)



DX銘柄
(JFEホールディングス7年連続)



トモニン取得
(2020年5月仕事と介護の両立)



均等・両立推進企業表彰
(2015年東京労働局長奨励賞受賞)



東京都「心のバリアフリー」
サポート企業に登録
(2019年3月全ての人の平等な
社会参加に取り組む)





- 1 前中期経営計画の総括(2018-2020)
- 2 中期経営計画の概要(2022-2024)**
- 3 トピックス

2022-2024 中期経営計画 キャッチフレーズ

Accelerate innovation

JFE-SIが加速する

まだ見ぬ未来へ向けて、私たちは商品力・人材力のさらなる強化を目指します。

連結財務目標

2024年度	連結経常利益	66億円
	連結ROS	11.6%
2022-24年度	連結ROE	15%程度の水準を維持

JFE-SIの目指す姿

- 商品力と人材力の強化、革新を通じて、個性的で特徴あるITベンダーに
- JFEグループ(7年連続DX銘柄選定)と連携したDX事業の強化
- サステナビリティ活動を通じて社会課題に貢献すると同時に、幅広いステークホルダーとの共存を追求
持続的な事業の成長を目指す

サステナビリティ活動を意識した経営の追求

商品力/技術力の強化

- ERP+独自のテンプレート、経営管理ソリューション
- 業界トップのプロダクト商品(食品、電子帳票)
- JFEグループ向けの大規模開発・
基盤構築実績(DX含む)

人材力の強化

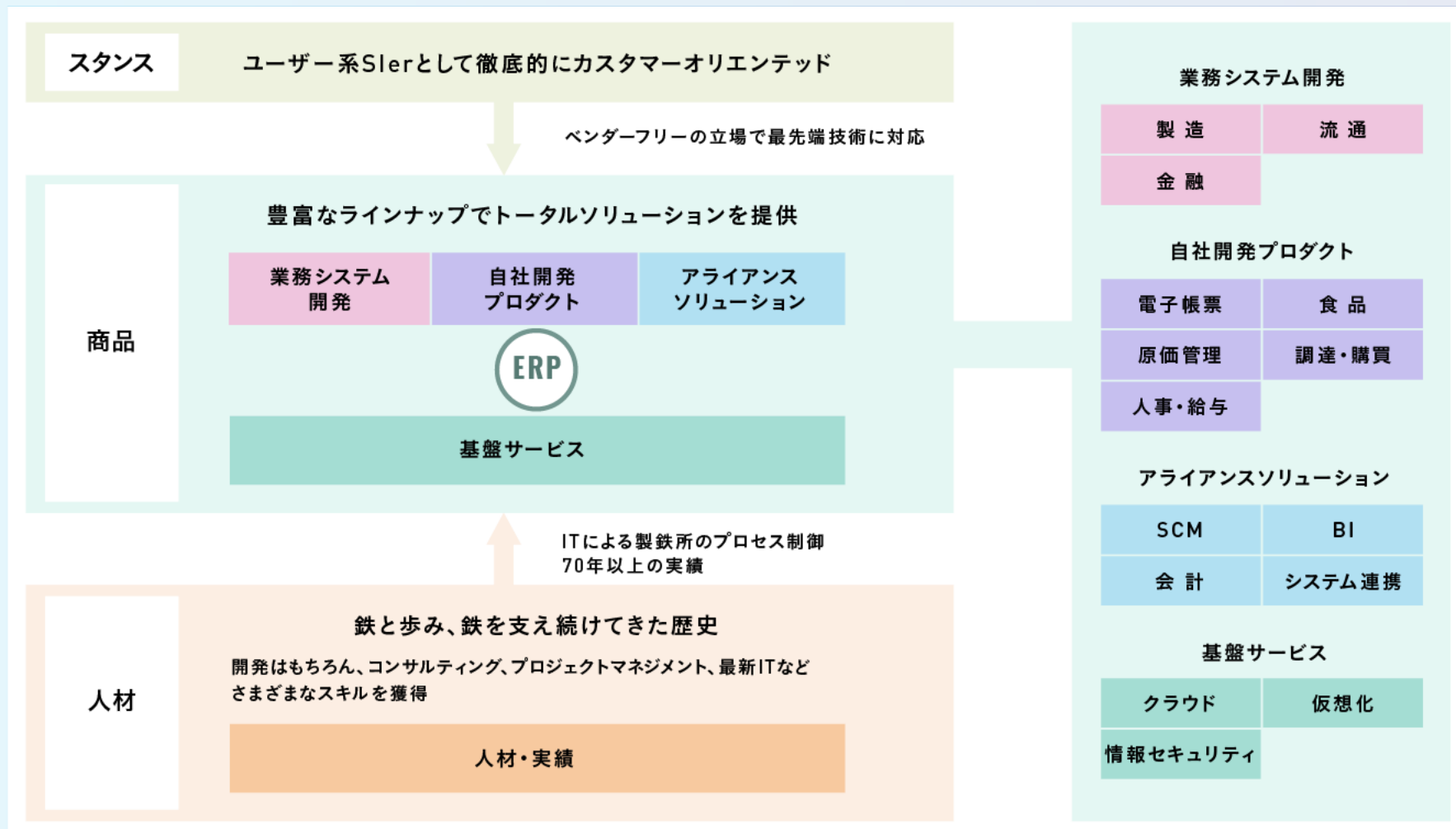
- 多様な業界向けの豊富なシステム構築
- 数々の商品開発実績
- SoE人材、DX人材の拡充



Accelerate innovation による企業価値向上

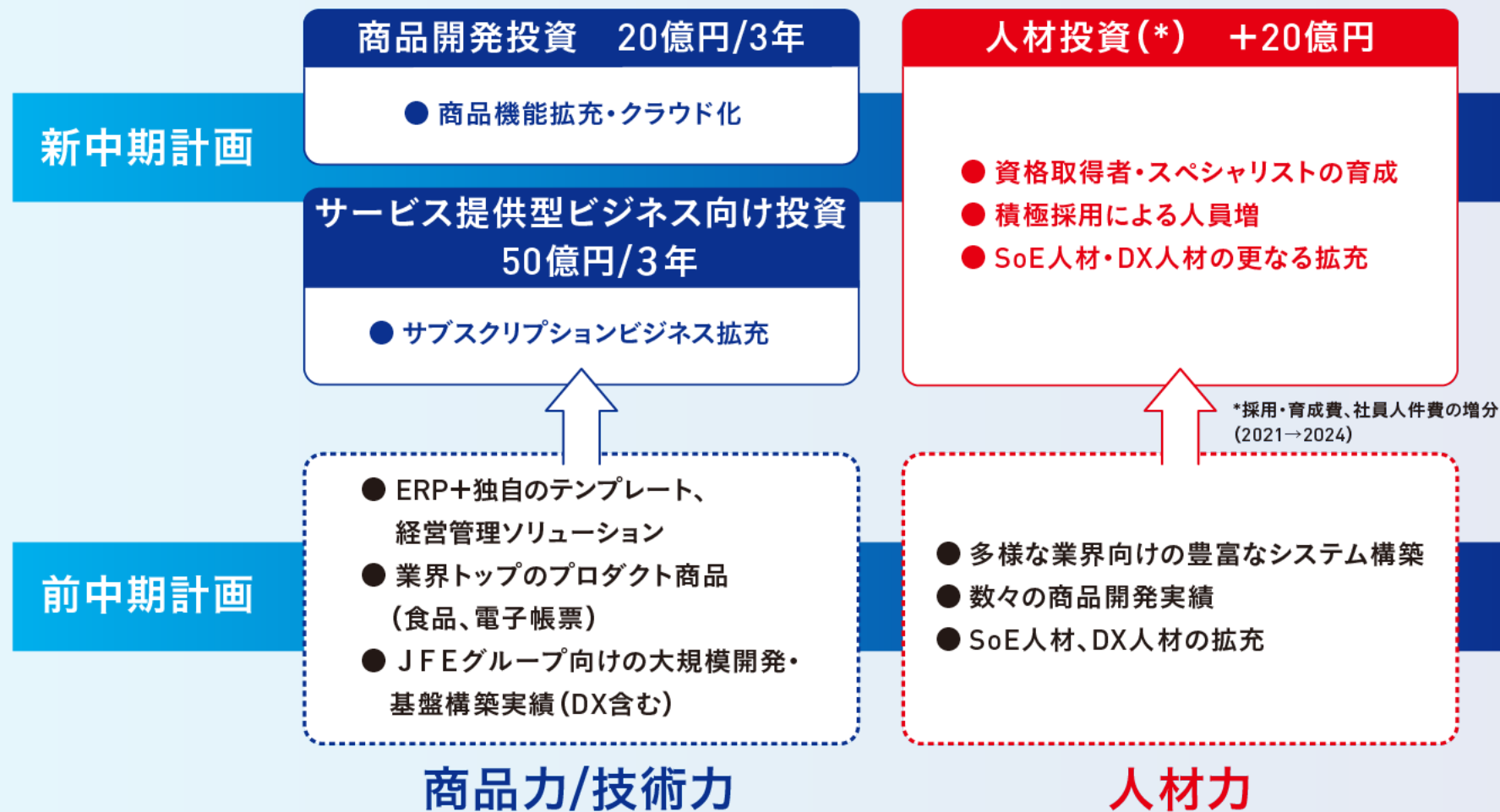
- 社会・ステークホルダーとの共存関係を強く意識した企業経営を追求
- 商品開発/人材開発/M&A等の投資拡大、DX事業強化による事業変革の加速

当社の強みは商品力/技術力と人材力



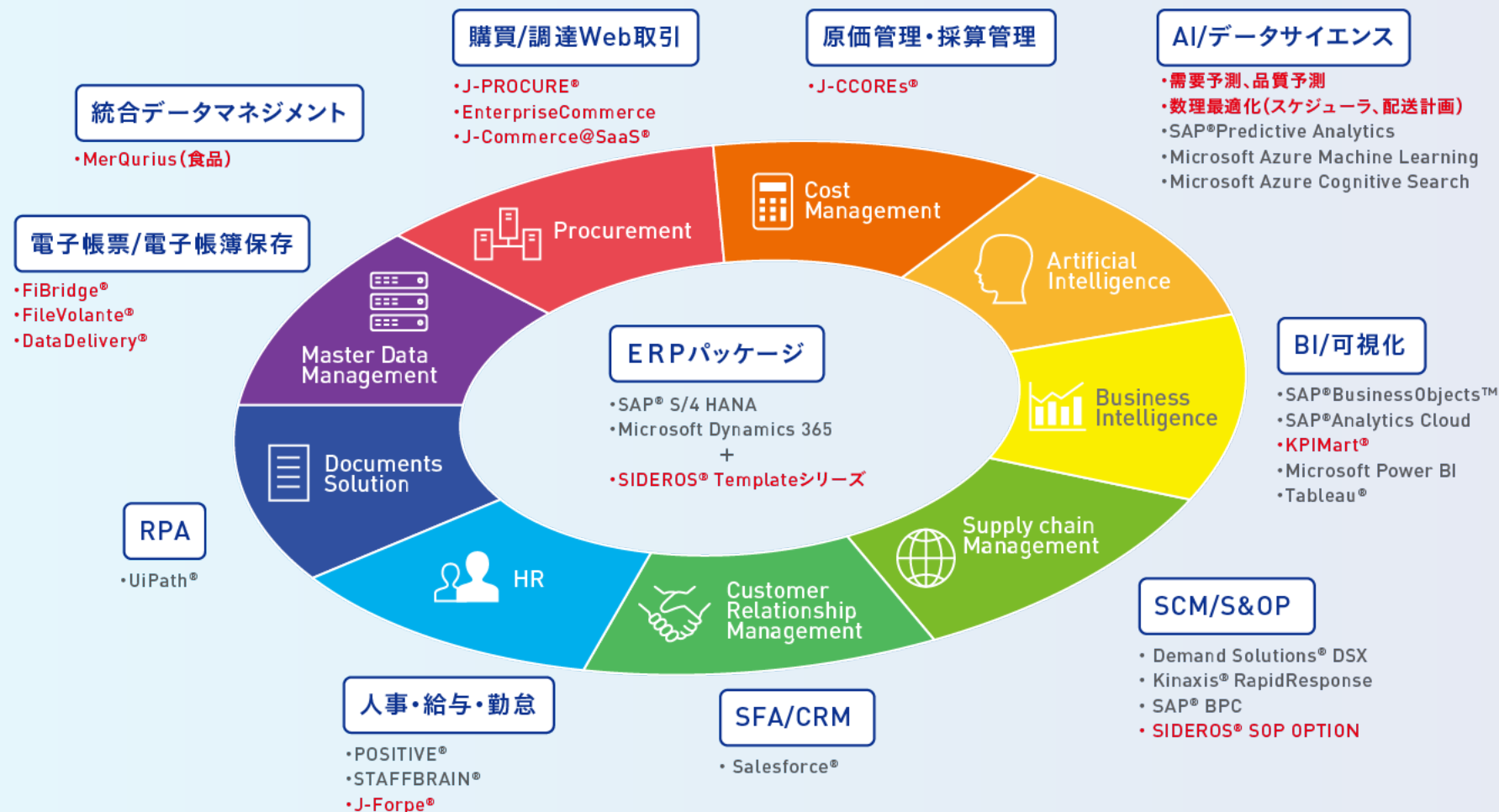
商品力/技術力 × 人材力の更なる強化に向けて

“商品力/技術力×人材力”の強化に更に磨きをかけるべく、新しい中期経営計画では、これまでの実績を土台に、積極的な投資と共に諸施策を推進してまいります。



商品力/技術力

40年の歴史で、技術力に裏付けされた幅広い商品ラインアップを取り揃えてきました。



※赤字は自社製品

その他

統合EDI

EAI/システム連携

マイグレーション

クラウドサービス (IaaS、運用サービス)

Webコンテンツ構築

中期計画概要 ① 事業別戦略

各事業で当社の強みを活かし、顧客満足を高め、更なるビジネスチャンスを捕捉します。



鉄鋼

製鉄所システムリフレッシュ本格化 — 国内でも最大規模の大型マイグレーション案件
— 膨大なノウハウを集積すると同時に人材育成も推進
基幹システムの開発運用に加え、DX案件にも積極的に対応



ソリューション
プロダクト

ERP～周辺ソリューション～DX等幅広い提案ができるベンダーに
食品、電子帳票では、NO.1プラットフォーマーの立場を維持強化
— 商品開発による機能拡充、クラウド対応、新機能追加により、商品力・提案力をさらに強化



ビジネス
システム

先進的な顧客の取り組みに呼応し、新技術・ノウハウを蓄積・活用(ローコード開発)
SoRビジネスからSoEビジネスへの転換を図る



基盤

JFEグループ向けの実績をもとにビジネス拡大(JFEグループ外のお客様の開拓)
クラウド、セキュリティ事業の強化、拡大



DX

JFEグループのDX実績をもとにしたDX新規ビジネスの拡大
(オフィスソリューション、製造現場ソリューション、プラットフォーム構築サポート)

JFEシステムズの中期計画におけるDX事業

3つのD(デジタル)で実現する
お客様のX(トランスフォーメーション)



商品力/技術力 × 人材力
Good Relation, Good Solution.



JFEグループ(7年連続DX銘柄選定)
で蓄積した製造業DXのノウハウ

中期計画概要 ② 全社横断施策

積極的な投資・株主還元により、企業価値の増大を目指します。
また、当社の根幹となる人材・サステナビリティ施策にも注力します。



投資

将来の成長に向けて、積極的な投資を推進する。

- ① 商品の機能拡充・新商品開発(20億円) ② サービス提供型ビジネス展開に向けた投資(50億円)
- ③ 既存事業の強化と事業領域の拡大を狙ったM&A ④ 研究開発投資

⇒ 投資規模は、3か年で年間経常利益の3年分(150億円規模)を想定



株式 施策

- ① 配当性向の引き上げ(現行30%→35%程度)
- ② 中間配当の実施



サステナ ビリティ

重要課題(マテリアリティ)への取り組みを通じて、

- ① 持続的な成長と企業価値の向上
- ② 持続可能な社会の実現

に貢献 後述



人材 育成

SoE人材、DX人材等、高度な技術力を有する人材育成と拡充
採用体制の充実など採用力強化を推進し社員数の増加を目指す
社員の報酬水準の継続的な向上



人材投資
+20億円

マテリアリティ

当社は自社事業を軸としたサステナビリティ活動に注力します。

課題の分野	重要課題(マテリアリティ)	関連するSDGs
ITを通じた課題解決	● 顧客目線に立った新技術の提案・導入 ● DX・新技術を通じた社会課題の解決	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 12 つくる責任 つかう責任
環境負荷低減	● JFEグループの環境対策への貢献 ● 自社技術を活かした環境保全	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 13 気候変動に具体的な対策を
健康経営の実践	● こころとからだの健康の維持 ● 働きやすい職場づくり	3 すべての人に健康と福祉を 8 働きがいも経済成長も
多様性の尊重	● Diversity, Equity & Inclusionの実現 後述 ● 人材育成の推進	4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を實現しよう 10 人や国の不平等をなくそう
高水準のガバナンス	● 質の高い企業ガバナンス・コンプライアンスの徹底 ● 高度な情報セキュリティの実現 ● パートナー企業との健全なパートナーシップ構築	16 平和と公正をすべての人に

ダイバーシティ推進 キャッチフレーズ

2021年12月、ダイバーシティ推進基本方針を定めるとともに、ダイバーシティ推進キャッチフレーズを策定しました。

Diversity, Equity & Inclusion



同時に制定した、女性社員の管理職登用目標である

「2030年度までに女性役員・管理職(部長・課長級)比率12%の達成(2021年度5.7%から倍増)」を目指し、戦略的な登用を推進します。

中期経営計画 財務目標

投資の拡大と並行しながら、更なる増収増益を目指す。

	2021年度		2022年度 計画	2024年度 目標
連結売上高	504億円		540億円	570億円
連結経常利益	56.4億円		57.0億円	66.0億円
ROS	11.2%		10.6%	11.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	37.2億円	➡	37.4億円	43.7億円
ROE	17.1%		15%程度の水準を維持	
配当	75円/株		85円/株	配当性向35%程度
配当性向	31.6%		35.7%	

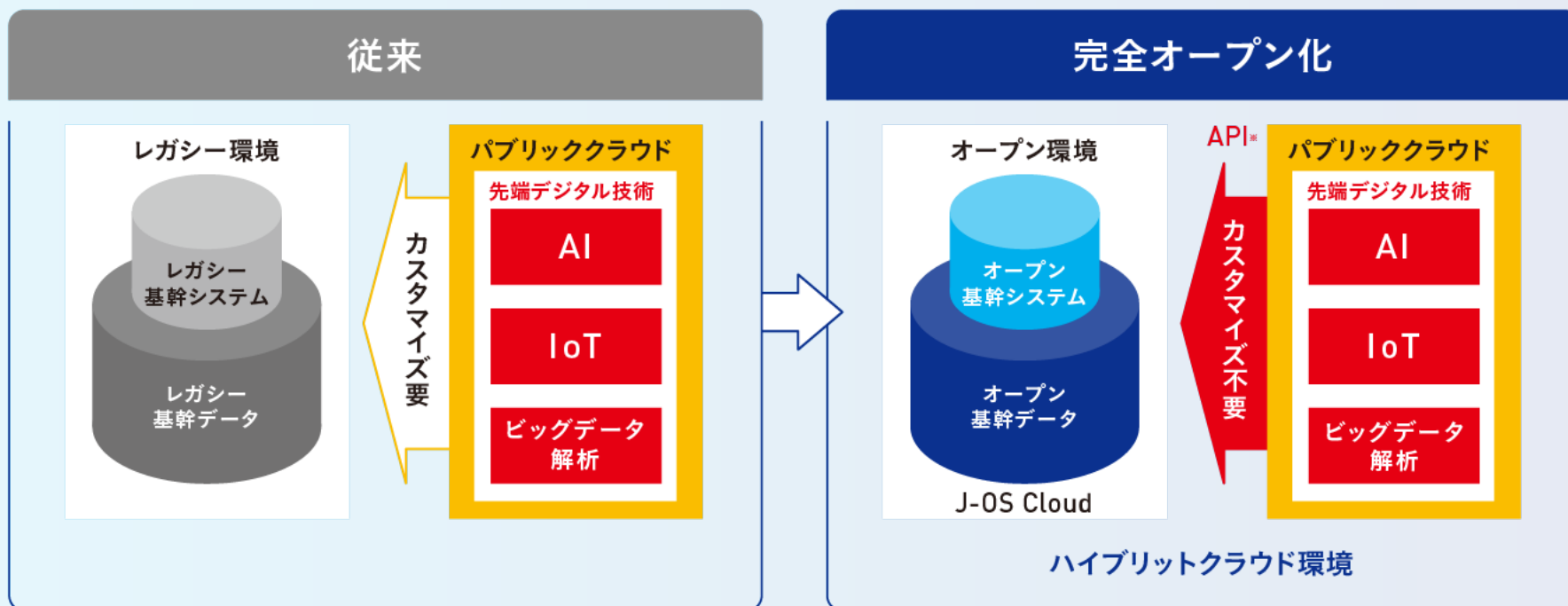


- 1 前中期経営計画の総括(2018-2020)
- 2 中期経営計画の概要(2022-2024)
- 3 トピックス**

JFEスチールの本社基幹システム・オープン環境移行

- JFEスチールは、2022年3月に、本社基幹システムをオープン環境に完全移行したことを発表
- 4,000万STEPを超える大規模な基幹システムのオープン環境への完全移行は日本初の事例
- 本プロジェクトに当社も中核として参画し、膨大なノウハウを集積すると同時に人材育成も推進

【レガシー環境からオープン環境への完全移行】



[※]API

Application Programming Interfaceの略。新環境では、パブリッククラウドとプライベートクラウド(J-OS Cloud)の連携を容易にするためのインタフェースのことを言う。



JFE システムズ



ご注意 本資料の将来の業績等に関する見通しは、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき願います。